

定形外
便り

Vol.9

「農業で町を興していく人と地域を探究する学び」

文：川根高校魅力化コーディネーター
(地域おこし協力隊)

伊神花織

川根高校を中心に、学校での取り組みを魅力化コーディネーターの立場から、地域の方などへのインタビューを交えてご紹介します。

町を思う仕事^が地域の学びへ引き継がれる



農業で地方創生事業に取り組む株式会社 Agrinos(アグリノス)で、小学校などと様々な交流をしていると聞き、奥泉の現場で働く中野菜穂さん(下長尾区)に話を伺いました。そこには地元出身だからこそ、子どもたちへ伝えたい思いがありました。

町の良さも課題もリアルに伝えていく



地域の学校ともしっかりと一緒に取り組みたいと話す中野さん

川高生と一緒に商品開発できないか?という問合せをきっかけに、中野さんにお会いしました。そこには、農業の必要性や課題を抱える現状を、子どもたちにリアルに伝えていきたいという強い思いがありました。

この町を盛り上げたいという気持ちからリターンし、その手段として農業で地域課題を解決しようとする農業法人に入社したそうです。なので学校との交流を積極的に行うことが、中野さんにとっても会社にとっても自然なことなのだと感じました。

「子どもたちに、課題や事実をそのまま伝えるのではなく、どうしたら自分のこととして考えてもらえるか意識して、問いかけをたくさんしました」という言葉から、使命感が強く伝わりました。それに応えるように、子どもたちは自身の知識や経験をつなげ、中野さんも気づいていない発見や発言が聞けたことが、うれしかったと話してくれました。



第一小学校3年生は、社会科の地域学習の一環でアグリノスを訪ね、農業体験やお話を聞きました。印象的だったことを聞くと「川根本町を助けるために働いている」と中野さんが話してくれたことだと声をそろえて教えてくれ、地域を思う気持ちがしっかりと伝わっていました。



地域を探究する選択教科【地生学(商業)】を受ける川根高校3年生は、川根地域の特産物を活かした商品開発を考えています。開発のアイデアについて、プロとしての意見をもらいました。他にも、農作業の手伝いに有志の生徒が参加するなど、様々な交流をしています。

伊神花織(いがみ かおり)

愛知県出身。広告代理店の営業を経て、教育コーディネーターとして大阪・東京で小中学校のキャリア教育に従事。高校教育に関わりたいと思い、魅力化コーディネーターを志望して本町へ。本町にはバイクツーリングで訪れており、景色の美しさや町の方々の優しさに触れる機会が多くあり、以前から好きな場所でした!



川根高校のInstagram

伊神さんが更新川高生の様子や授業での豆知識など発信中!

